

インシデント管理をシステム化で 管理業務を軽減します。

未遂 ● 1:なし ○ 2:

● 1階 ○ 2階 ○ 3階 ○ 4階

○待合 ○廊下 ●診察室（内科）

●当事者本人 ○同職種者 ○他職

○外来患者 ●入院患者 ○

チェック式入力だから、紙レポートと同じように
レポート作成が簡単。
データ集計や分析業務も強力サポートします。



50
ID

¥598,000~

100
ID

¥898,000~

チェック式
簡単入力

独自項目
設定可能

承認者数
設定可能

業界最安値のインシデント管理システム

インシデント管理システム「メディカルリスクブロック」で業務改善をサポート

【Before】
ペーパー入力

共有に時間
がかかる



タイムリーな
データ分析

【After】
システム導入後

集計作業が
重労働



報告書集計
がスムーズ



「メディカルリスクブロック」選ばれる理由

「メディカルリスクブロック」 選ばれる理由

2.業界最安値だから予算の問題をクリアできる

50ライセンス ¥598,000~と業界最安値で予算の問題をクリアできます。

1.チェック式入力だから簡単にレポート作成できる

チェック式入力だから、紙運用と同じように入力できるので、簡単にレポート作成ができます。

3.強力なデータ集計、分析で管理者をサポート

登録された全ての項目をクロス集計することができ、委員会用の資料作成が短時間でできます。

簡単入力で素早くレポート作成、集計分析で管理者業務を強力サポート

インシデントレポートはチェックするだけの簡単作成

インシデントの発生場所や項目など報告する項目は事前にマスタ登録されています。
 報告者は各項目をチェックするだけで簡単にレポートが作成できます。
 他システムとのデータ連携や、患者情報の自動入力も可能です。

0:未遂

4a:永続的/軽度~中等度 4b:永続的/中等度~重度

登録区分 本人 代理

部門

職種 MSW

業務体系 日勤 準夜勤 深夜勤 日

* 発生日時

発生日時 2017/10/12 時間帯 17時 0~29分

発見日時 時間帯 0時 0~29分

* 発生場所

(1) 1階 2階 3階 4階

(2) 風除室 待合1

診察室3 (外科) 診察室4 (婦人科)

スタッフスペース2 スタッフスペース3

談話コーナー 車椅子置場

当事者本人 同職種者 他職種者

お客様独自の登録項目が設定可能

レポートに登録する項目はお客様独自の項目に設定することが可能です。
 事前お打合せにより決めさせて頂いた項目をシステムに設定いたします。

2:一過性/軽度 3a:一過性/中等度

4:永続的/中等度~重度 5:死亡 99:その他

本人 代理 種別 当事者 発見者

部門 部署 氏名 スキル管理者

職種 MSW 部署経年数 117 実務経年数 117

業務体系 日勤 準夜勤 深夜勤 日勤(前月から) 当直(オンコール) 当直(オンコール制) 不明

* 発生日時

発生日時 2017/10/12 時間帯 17時 0~29分

発見日時 時間帯 0時 0~29分 推定発生日時 時間帯 0時 0~29分

* 発生場所

(1) 1階 2階 3階 4階

(2) 風除室 待合1

診察室3 (外科) 診察室4 (婦人科)

スタッフスペース2 スタッフスペース3

談話コーナー 車椅子置場

当事者本人 同職種者 他職種者 患者本人 家族 他患者 不明 その他

報告種別 外来患者 入院患者 緊急来院 病院職員 外注職員 その他 対象者なし

ID 氏名 患者識別

性別 男性 女性 年齢 15歳以下 16~29歳 30~49歳 50~69歳

70~79歳 80歳以上

診療科目 内科 外科 小児科 産科 婦人科 皮膚科 泌尿器科 消化器科 循環器科 神経科 眼科 耳鼻科 歯科

製品詳細

承認、差し戻し、公開設定から委員会送致まで

作成されたレポートは承認者に承認、問題があれば差し戻されます。
最終承認者は承認と公開設定により全体へ共有されます。
医療安全委員会へ送致し、対策を立案することもできます。

最大4名まで承認者を設定可能

作成されたインシデントレポートの承認者は最大で4名まで設定可能です。
お客様の運用に合わせた承認者を設定することで、現在と同じ運用方法
でご利用頂けます。

製品詳細

300通以上のクロス集計分析で資料作成をサポート

登録されたインシデントデータは、300通り以上のクロス集計分析ができます。医療安全委員会での資料作成など、管理者の業務を強力にサポートします。自由記述をしない方式のため、語彙の違いによる集計結果の分散が防げます。

権限設定が細かく設定可能

権限を細かく設定することで様々な運用ルールに合わせることができます。例えば、レポートの参照権限を「レベル0-3」まで参照可能とする設定や承認権限、分析権限なども自由に設定可能です。

検索条件: 公開 非公開

作成中 差戻し 承認待ち 管理者承認 委員会承認 完了

対策必要 対策必要なし 対策入力中 対策済

期間: 2016/10/12 ~ 2017/10/12

場所: 1階 2階 3階 4階

部門・部署: 指定なし

報告者:

代理人:

作成: 指定なし 自身が作成した報告書のみ

検索 クリア

事故コード	既読	状態	承認員長	副委員長	公開	事故レベル	発生日	発生場所
201700035	○	承認待ち			未公開	0:未遂	2017年09月19日	2階 病室 (個室)
201700034	○	作成中			未公開	0:未遂	2017年09月15日	4階 洗浄室
00033		作成中			未公開	0:未遂	2017年09月06日	1階 廊下
		管理者承認	承認		公開	0:未遂	2017年09月04日	
		中			未公開	0:未遂	2017	



システム機能① レポート作成



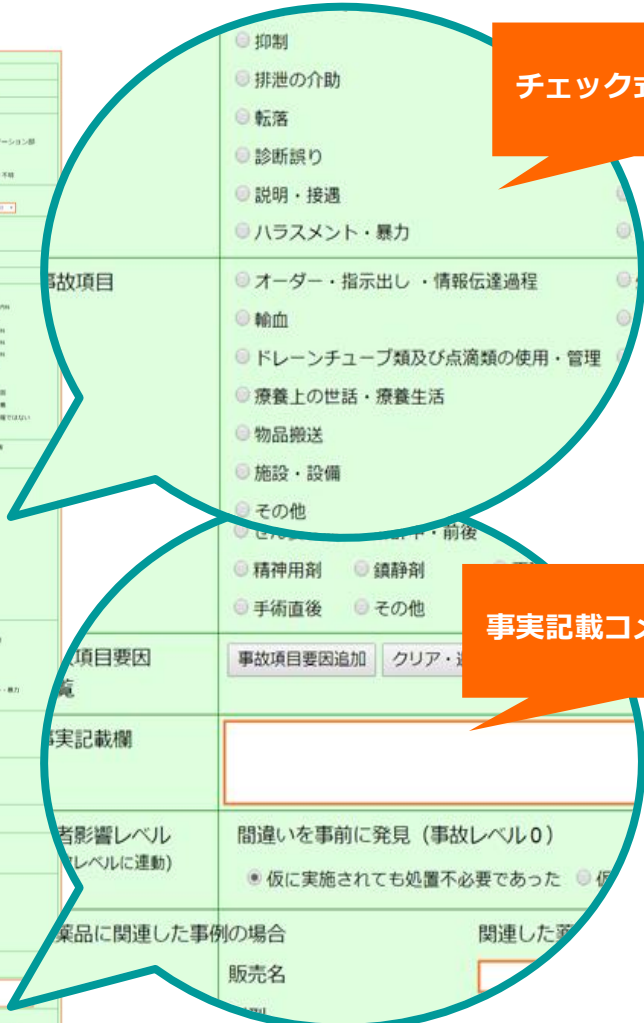
レポートはチェック式の簡単入力で作成できます。
 入力サポートして、選択項目により次の入力項目が自動的に切り替わります。
 発生場所や事故項目などお客様の内容に合わせた登録項目を設定することができます。

The screenshot shows a detailed report form with the following sections:

- 基本情報:** Includes fields for report code (201700008), date (2017/07/19), and patient information.
- 報告者:** Fields for department (リハビリテーション部) and staff name (リハビリテーション部).
- 日時:** Date and time selection fields.
- 事故項目:** A large grid of checkboxes for selecting incident types, such as '転落' (fall), '診断誤り' (diagnosis error), and '説明・接遇' (explanation/attitude).
- 発生場所:** A grid of checkboxes for incident locations like '手術室' (operating room) or '病室' (ward).
- 発生原因:** A grid of checkboxes for causes like '薬剤' (medication) or '設備' (equipment).
- 影響レベル:** A dropdown menu to select the impact level.
- 事実記載欄:** A text area for recording the incident details.
- 患者影響レベル:** A dropdown menu for patient impact level.
- 医薬品に関連した事例の場合:** A section for recording related cases with fields for drug name and sales name.

チェック式の簡単入力

事実記載コメント入力可能



システム機能② 承認・差戻し・公開・対策立案



承認・差戻し・公開

保存	キャンセル		
<承認状況>			
承認者1	承認者2	承認者3	承認者4
伊東智子	承認		

編集モード	<状態>	承認待ち	未公開
-------	------	------	-----

基本情報	管理者コメント	対策
*は必須項目です		
事故コード	200400003	
承認者1コメント	項目について記載があればより背景要因が明らかとなり、有効性の改善策を立てることができる。 (1) その施設における看護経験および医師・看護師間の患者情報伝達・確認方法 (2) 医師から看護師への抗議拒絶に対する情報提供の有無および看護師の当該拒絶時のプロトコルに対する実施経験の有無 (3) 注射薬の請求・払い出し方法 (4) 手	
承認者名	伊東智子	
承認者役職	看護部管理者	
承認日	2007/01/09 17:16	
承認者2コメント	200400003	
承認者3コメント	項目について記載があればより背景要因が明らかとなり、有効性の改善策を立てることができる。 (1) その施設における看護経験および医師・看護師間の患者情報伝達・確認方法 (2) 医師から看護師への抗議拒絶に対する情報提供の有無および看護師の当該拒絶時のプロトコルに対する実施経験の有無 (3) 注射薬の請求・払い出し方法 (4) 手	
承認者4コメント	承認者名 伊東智子 承認者役職 看護部管理者 承認日 2007/01/09 17:16	
処理完了コメント	報告書の処理を完了	

承認者は最大4人まで設定できます。各承認者のコメントを入力し、承認や差戻しを行います。最終承認者による承認後、公開を行われると全スタッフへレポートが公開されます。

対策立案

保存	キャンセル		
<承認状況>			
承認者1	承認者2	承認者3	承認者4
伊東智子	承認		

編集モード	<状態>	委員会承認	公開
-------	------	-------	----

基本情報	管理者コメント	対策																																								
*は必須項目です																																										
事故コード	200400007																																									
対策一覧	<table border="1"> <tr> <td>対策登録</td> <td>対策クリア・選択解除</td> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>基準、マニュアルの確認、薬品について</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>削除</td> <td>防止マニュアルの徹底。</td> <td>選択</td> <td>看護師間および医師・看護師間の患者情報伝達・確認方法や</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>マニュアルの徹底、伝票指示システムの改善。</td> <td>選択</td> <td>マニュアルの徹底、伝票指示システムの改善。</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>防止マニュアルの徹底。</td> <td>選択</td> <td>防止マニュアルの徹底。</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>配薬ボックスを整理</td> <td>選択</td> <td>配薬ボックスを整理</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>ダブルチェックの徹底と、個人の意識を忘れないようにする。</td> <td>選択</td> <td>ダブルチェックの徹底と、個人の意識を忘れないようにする。</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>類似薬品の配置場所を工夫し、取り換え防止を徹底する。</td> <td>選択</td> <td>類似薬品の配置場所を工夫し、取り換え防止を徹底する。</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>病棟と運用の際確認を今後行う。確認操作の手順を再</td> <td>選択</td> <td>病棟と運用の際確認を今後行う。確認操作の手順を再</td> </tr> </table>		対策登録	対策クリア・選択解除	選択	登録	基準、マニュアルの確認、薬品について	選択	削除	防止マニュアルの徹底。	選択	看護師間および医師・看護師間の患者情報伝達・確認方法や	選択	登録	マニュアルの徹底、伝票指示システムの改善。	選択	マニュアルの徹底、伝票指示システムの改善。	選択	登録	防止マニュアルの徹底。	選択	防止マニュアルの徹底。	選択	登録	配薬ボックスを整理	選択	配薬ボックスを整理	選択	登録	ダブルチェックの徹底と、個人の意識を忘れないようにする。	選択	ダブルチェックの徹底と、個人の意識を忘れないようにする。	選択	登録	類似薬品の配置場所を工夫し、取り換え防止を徹底する。	選択	類似薬品の配置場所を工夫し、取り換え防止を徹底する。	選択	登録	病棟と運用の際確認を今後行う。確認操作の手順を再	選択	病棟と運用の際確認を今後行う。確認操作の手順を再
対策登録	対策クリア・選択解除	選択	登録	基準、マニュアルの確認、薬品について																																						
選択	削除	防止マニュアルの徹底。	選択	看護師間および医師・看護師間の患者情報伝達・確認方法や																																						
選択	登録	マニュアルの徹底、伝票指示システムの改善。	選択	マニュアルの徹底、伝票指示システムの改善。																																						
選択	登録	防止マニュアルの徹底。	選択	防止マニュアルの徹底。																																						
選択	登録	配薬ボックスを整理	選択	配薬ボックスを整理																																						
選択	登録	ダブルチェックの徹底と、個人の意識を忘れないようにする。	選択	ダブルチェックの徹底と、個人の意識を忘れないようにする。																																						
選択	登録	類似薬品の配置場所を工夫し、取り換え防止を徹底する。	選択	類似薬品の配置場所を工夫し、取り換え防止を徹底する。																																						
選択	登録	病棟と運用の際確認を今後行う。確認操作の手順を再	選択	病棟と運用の際確認を今後行う。確認操作の手順を再																																						
立案された対策はマスタ化																																										
検索条件	対策内容: <input type="text"/>																																									
対策使用有無:	<input type="checkbox"/> 検索																																									
対策マスター一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>登録</th> <th>対策内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>基準、マニュアルの確認、薬品についての学習、検査の前処</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>看護師間および医師・看護師間の患者情報伝達・確認方法や</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>マニュアルの徹底、伝票指示システムの改善。</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>防止マニュアルの徹底。</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>配薬ボックスを整理</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>ダブルチェックの徹底と、個人の意識を忘れないようにする。</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>類似薬品の配置場所を工夫し、取り換え防止を徹底する。</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>登録</td> <td>病棟と運用の際確認を今後行う。確認操作の手順を再</td> </tr> </tbody> </table>		選択	登録	対策内容	選択	登録	基準、マニュアルの確認、薬品についての学習、検査の前処	選択	登録	看護師間および医師・看護師間の患者情報伝達・確認方法や	選択	登録	マニュアルの徹底、伝票指示システムの改善。	選択	登録	防止マニュアルの徹底。	選択	登録	配薬ボックスを整理	選択	登録	ダブルチェックの徹底と、個人の意識を忘れないようにする。	選択	登録	類似薬品の配置場所を工夫し、取り換え防止を徹底する。	選択	登録	病棟と運用の際確認を今後行う。確認操作の手順を再													
選択	登録	対策内容																																								
選択	登録	基準、マニュアルの確認、薬品についての学習、検査の前処																																								
選択	登録	看護師間および医師・看護師間の患者情報伝達・確認方法や																																								
選択	登録	マニュアルの徹底、伝票指示システムの改善。																																								
選択	登録	防止マニュアルの徹底。																																								
選択	登録	配薬ボックスを整理																																								
選択	登録	ダブルチェックの徹底と、個人の意識を忘れないようにする。																																								
選択	登録	類似薬品の配置場所を工夫し、取り換え防止を徹底する。																																								
選択	登録	病棟と運用の際確認を今後行う。確認操作の手順を再																																								

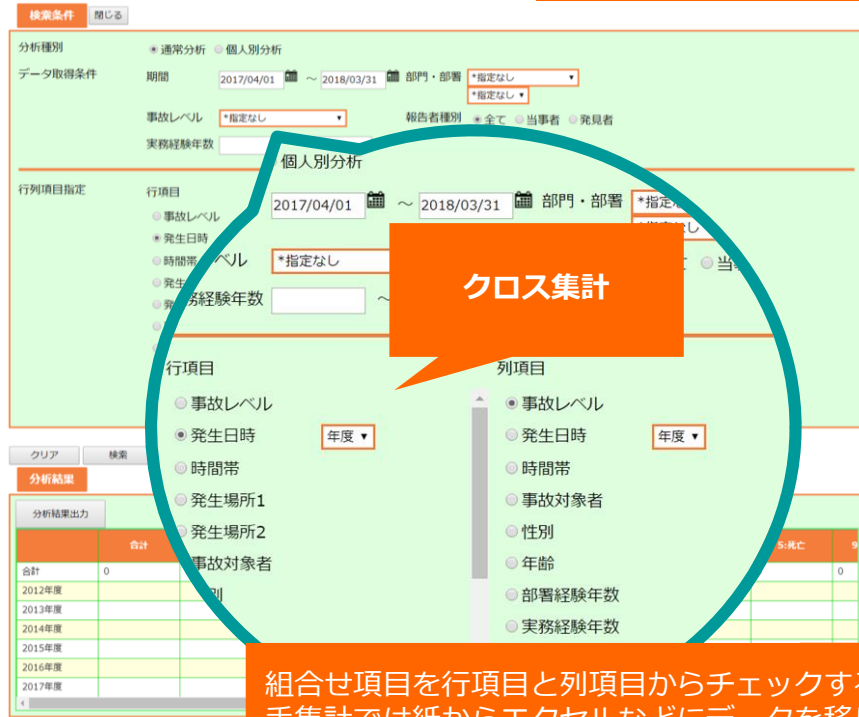
委員会で公開したレポートに対する対策を検討・立案することができます。



システム機能③ 集計分析



集計分析



分析データ活用

個人別分析：(事故レベル/事故項目)

部門	部署	氏名	事故経験年数	事故レベル	合計	処方	与薬(注射・点滴)	与薬(内服)	与薬(外用、点鼻、坐、吸入、貼用、点眼)	調剤	輸血	手術	麻酔	分娩	リハ
看護部	A病棟	平原綾香	15年9か月	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
看護部	A病棟	平原綾香	15年9か月	5-死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護部	A病棟	平原綾香	15年9か月	0-未遂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護部	A病棟	平原綾香	15年9か月	99-苦情・クレーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護部	A病棟	平原綾香	15年9か月	98-単発事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護部	A病棟	木村綾子	12年9か月	0-未遂	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護部	A病棟	木村綾子	12年9か月	1-要配慮	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護部	A病棟	木村綾子	12年9か月	2-要観察・処置	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護部	A病棟	木村綾子	12年9か月	3-要追加治療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護部	A病棟	木村綾子	12年9か月	4-障害遺残	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護部	A病棟	木村綾子	12年9か月	99-苦情・クレーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護部	A病棟	木村綾子	12年9か月	98-単発事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療部	薬剤科	鈴木一朗	25年9か月	0-未遂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療部	薬剤科	鈴木一朗	25年9か月	1-要配慮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療部	薬剤科	鈴木一朗	25年9か月	2-要観察・処置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療部	薬剤科	鈴木一朗	25年9か月	3-要追加治療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療部	薬剤科	鈴木一朗	25年9か月	4-障害遺残	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療部	薬剤科	鈴木一朗	25年9か月	99-苦情・クレーム	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療部	薬剤科	鈴木一朗	25年9か月	98-単発事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療部	薬剤科	坂上次郎	17年3か月	0-未遂	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療部	薬剤科	坂上次郎	17年3か月	1-要配慮	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療部	薬剤科	坂上次郎	17年3か月	2-要観察・処置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

集計結果をCSVファイルからダウンロードし、エクセル等を使用した、柔軟なデータ分析ができます。

組合せ項目を行項目と列項目からチェックするだけで簡単にデータ集計ができます。手集計では紙からエクセルなどにデータを移したりするなど時間がかかる、集計にミスがあるなどの問題をシステムによるクロス集計機能で解決します。

クロス集計がもたらすメリットは、事故レベルや年齢などの違いを把握する事で、属性別にどのような影響があるかを把握できます。医療安全の観点から事故項目・事故レベルなどで分ける事により、属性別に分けて考える事ができ、組合せを変えることで見えなかった傾向を可視化することになります。

追加オプション機能 eラーニング連携

追加
オプション

印刷やマニュアルに対するアンケートの実施も可能

印刷用表示

アンケート

課業分析モード イメージモード 手順A 4モード

キーワード

検索

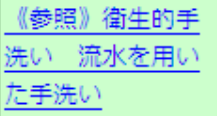

- 看護部
 - 看護技術
 - 静脈内注射
 - 筋肉内注射
 - 皮下注射
 - 真空採血管による静脈採血
 - 導尿技術
 - 浣腸（高圧・ラクツロース）
 - 吸引
 - 看護全般
 - 介助 2
 - 介助
 - 一般撮影部門
 - 調剤
 - 栄養
 - 外来
 - 管理
 - 輸血（MAP）
 - 個人情報保護法

マニュアルコード：001009023 Version：20 重要度：R 作成：2006/10/12 木村綾子
 部門：看護部 交付：2006/10/12 木村綾子
 分類：看護技術 改訂：2012/08/24 管理者 管理者
 業務：静脈内注射

静脈内に直接薬剤を注入し全身に作用する。作用時間は5～10分をきわめて迅速、強力、最も効果的で局所に刺激が少ない。

(階層管理)
「部門」「分類」「業務」の3階層で管理しやすく、他部門との共有が可能

(3タイプの表示モード)
 課業分析：1手順につき4領域表示
 イメージ：1手順につき1枠表示
 手順A 4：1業務手順のみ表示

手順	留意点	必要な知識・能力・コツ	接遇
1. 1.注射の準備を行う (1) 手洗いを行う  	・医療者間による水平感染の予防 ・皮膚に付着している細菌が容易に除去できる	・流水で洗浄し、良く石けんを泡立て、30秒以上洗 ・手首をこすりあわせて洗 ・指の間を洗 ・親指はなしのよう洗う ・ペーパー1枚で両手をふく。	・医療者、患者間の感染予防

(課業分析モード)
4領域にわかれており、新人職員用の教科書としても活用可能



キーワード

検索

追加オプション

○ 看護部

- Ⅰ. 環境調整技術
- Ⅱ. 食事援助
- Ⅲ. 排泄援助技術
- Ⅳ. 活動・休息援助技術
- Ⅴ. 清潔・衣生活援助
- Ⅵ. 呼吸・循環を整える技術
- Ⅶ. 創傷管理
- Ⅷ. 与薬の技術
 - 点滴静脈内注射(留置針)
 - 輸液ポンプ
 - シリンジポンプ
 - 外用薬の与薬②点眼
 - 外用薬の与薬③皮膚貼付剤
 - 皮下注射
 - 末梢血管留置接続用デバイス...
 - 外用薬の与薬①眼軟膏
 - 経口薬の与薬
 - 直腸内与薬

○ 課業分析

マニュアル

部門：看護

分類：IX.

業務：気管

概要：

気管内に気

方法



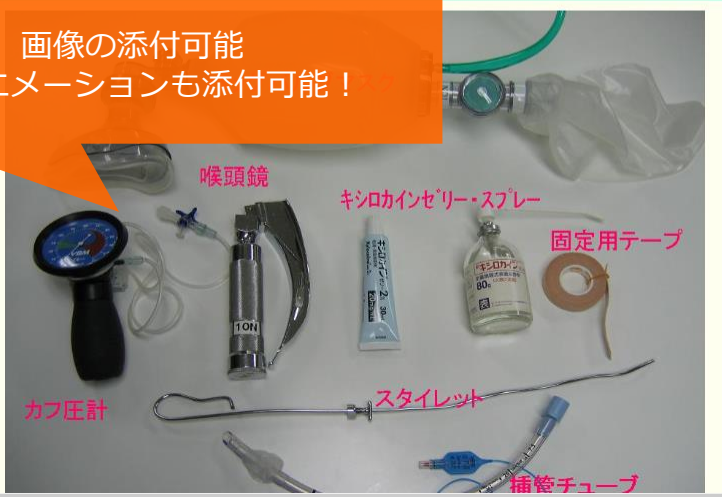
印刷用表示

アンケート

動画コンテンツも添付可能

- 1 【手順】
- 必要物品を準備する
- ・気管チューブ
 - ・スタイレット
 - ・喉頭鏡
 - ・カフ用注射器（10ml）
 - ・カフ圧計
 - ・潤滑ゼリー
 - ・キシロカインスプレー
 - ・気管チューブ固定具又はテープ
 - ・聴診器
 - ・枕
 - ・吸引カテーテル

画像の添付可能
Gifアニメーションも添付可能！



画像、動画、PDF、PPT、Word、Excel
など様々なファイルを添付可能！

追加オプション機能 eラーニング連携 テスト

追加
オプション

(動画)
動画を視聴しながらテストが可能



血糖値測定
備考:

アルコール綿が禁止の患者に対して、血糖測定の採血を行う
毒は何を用いたらよいか。正しい答えを1つ選べ。

(中断)
テストを中断することができ、
次回には中断設問から再開可能

選択肢	回答
1 0.1% 次亜塩素酸ナトリウム	<input type="checkbox"/>
2 0.1% 塩化ベンザルコニウム	<input type="checkbox"/>
3 2% グルタルール (グルタルアルデヒド)	<input type="checkbox"/>
4 7.0% イソプロパノール	<input type="checkbox"/>

代表的な一般名や慣用名

- 1. アンチホルミン、次亜塩素酸ソーダ
- 2. オスバン、チアミトール

(回答) タラール
回答は設問に対して選択肢から選ぶ
選択式

中断

ここまでを答え合わせ 次へ

Skill Information"S" Co. Ltd.

追加
オプション

インシデントに関連したマニュアルを登録して参照することができるので教育学習にも利用できます。

インシデントに関連するマニュアルを参照が可能。

編集モ	基	音コメ																																							
事故コード																																									
コメント																																									
関連マニュアル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">部門</th> <th style="width: 20%;">カテゴリ</th> <th style="width: 20%;">業務</th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>選択 削除</td> <td>看護技術標準マニュアル</td> <td>I.環境調整技術</td> <td>基本的な「ハット・メーキング」①臥床患者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>選択 削除</td> <td>看護技術標準マニュアル</td> <td>II.食事援助技術</td> <td>経管栄養法①経鼻栄養法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>選択 削除</td> <td>看護技術標準マニュアル</td> <td>V.清潔・衣生活</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>選択 削除</td> <td>学習用教材（一般向け）</td> <td>コミュニケーション</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>選択 削除</td> <td>看護技術標準マニュアル</td> <td>III.排泄援助技術</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						部門	カテゴリ	業務			選択 削除	看護技術標準マニュアル	I.環境調整技術	基本的な「ハット・メーキング」①臥床患者			選択 削除	看護技術標準マニュアル	II.食事援助技術	経管栄養法①経鼻栄養法			選択 削除	看護技術標準マニュアル	V.清潔・衣生活				選択 削除	学習用教材（一般向け）	コミュニケーション				選択 削除	看護技術標準マニュアル	III.排泄援助技術			
	部門	カテゴリ	業務																																						
選択 削除	看護技術標準マニュアル	I.環境調整技術	基本的な「ハット・メーキング」①臥床患者																																						
選択 削除	看護技術標準マニュアル	II.食事援助技術	経管栄養法①経鼻栄養法																																						
選択 削除	看護技術標準マニュアル	V.清潔・衣生活																																							
選択 削除	学習用教材（一般向け）	コミュニケーション																																							
選択 削除	看護技術標準マニュアル	III.排泄援助技術																																							

マニュアル閲覧条件

部門:

カテゴリ:

業務:

マニュアル閲覧

キーワード:

検索

- 看護部
 - ① I.環境調整技術
 - ② II.食事援助技術
 - ③ III.排泄援助技術
 - ④ IV.活動・休息援助技術
 - ⑤ V.清潔・衣生活援助
 - ⑥ VI.呼吸・循環を整える技術
 - ⑦ VII.創傷管理
 - ⑧ VIII.与薬の技術
 - 点滴静脈内注射(留置針)
 - 輸液ポンプ
 - シリンジポンプ
 - 外用薬の与薬②点眼
 - 外用薬の与薬③皮膚貼付剤
 - 皮下注射
 - 末梢血管留置接続用デバイス...
 - 外用薬の与薬④眼軟膏
 - 経口薬の与薬
 - 直腸内与薬

マニュアルコード: 003007001 Version: 40 重要度:

作成: 2008/12/03 ナース 主任看護師
 交付: 2008/12/10 ナース 副看護部長
 改訂: 2013/08/27 ナース 副看護部長

業務: 気管挿管

概要: 気管内に気管チューブを挿入し、気道を確実に確保する方法

目標: 気道の確保、人工呼吸管理、誤嚥予防、気道内分泌の吸引を行い確実に気道を維持する

1 【手順】

- ・必要物品を準備する
- ・気管チューブ
- ・スタイレット
- ・喉頭鏡
- ・カフ用注射器（10ml）
- ・カフ圧計
- ・潤滑ゼリー
- ・キシロカインスプレー
- ・気管チューブ固定具又はテープ
- ・聴診器
- ・枕
- ・吸引カテーテル

カフ圧計 喉頭鏡 キシロカインスプレー 潤滑ゼリー 気管チューブ スタイレット 聴診器 枕 吸引カテーテル

インシデントに関連するマニュアルを設定

システム構成／推奨サーバスペック



推奨システム仕様

サーバスペック

CPU	IntelXeonプロセッサ以上
メモリ	4GB以上
HDD	500GB以上
OS	WindowsServer2014以上
DB	SQLServer2014Express

クライアント

ブラウザ InternetExplorer9以上

スキルインフォメーションズ株式会社

【大阪本社】

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-17-26
 スキルインフォメーションズビル
 Tel 06-6320-4199 / Fax 06-6320-4198

【東京事業所】

〒110-0005 東京都台東区上野3丁目14-1
 UENO CUBE EXECUTIVEビル6階
 Tel 03-5875-4199 / Fax 03-5875-8050